

CommandCenter Secure Gateway Firmware

Release Notes



Version: CC-SG 11.5.0

Release Status: General Availability (GA)

Date: 2024年5月10日

CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) の製品概要

ラリタンの CommandCenter® Secure Gateway (CC-SG) は、IT 管理者に一元管理可能な安全なリモートアクセスと制御を提供するアプライアンス製品です。ラリタンの CC-SG は、Dominion® KVM-over-IP スイッチとシリアルコンソールサーバー、PX シリーズ (PDU) 、サービスプロセッサ、RDP、SSH、VNC などの in-band 方式を含む複数のリモートアクセス手順を統合します。

CC-SG を使用することにより、ユーザーは BIOS アクセス、out-of-band KVM アクセス、シリアルデバイスへのシリアルアクセスなどの IT インフラストラクチャー全体へのアクセスを単一のシステムから制御できます。

Release 11.5.0 の概要

CC-SG 11.5.0 は、General Availability (GA – 一般提供) リリースです。このリリースは、パフォーマンスと生産性の向上、新製品とアクセサリのサポート、新機能と拡張機能、バグ修正、特定のモデル・製品に対する一般的な修正が含まれる場合があります。アップデートの概要につきましては、これ以降に記載されます。

リリース 11.5.0 は、有効期限内のソフトウェア保守契約をお持ちのお客様が、ラリタンの Web サイトへログインすることにより利用可能です。

重要なお知らせ

CC-SG 11.5.0 を利用するためには、11.0.0 が稼働中である必要があります。古いリリース (10.0.0 以前) を利用している場合、11.0.0 へアップグレードしてください。

ご利用中のファームウェア

11.5.0 へのアップグレードパス

10.0 以前

» 10.0.0 » 11.0.0 » 11.5.0

11.0.0

» 11.0.0 » 11.5.0

新しいハードウェアアプライアンス (CCSG-E1-5) は、11.5.0 以降でのみサポートされます。(ダウングレード不可)

CC-SG と管理製品／サービスの互換性

別のドキュメントとして用意されているリリース 11.5.0 用の「互換性マトリックス」をご参照ください。

このリリースのガイドライン

後述の「CC-SG 11.5.0 のサポートと互換性」をご参照ください。ハードウェアアプライアンスの型名が不明な場合、ラリタンのサポート窓口までお問合せください。

リリース詳細

新機能および拡張機能

| 管理 ID | 概要 |
|-------|--|
| 81262 | Okta を介した SAML 認証をサポートしました。 CC-SG への Smartcard アクセスをサポートしました。 |
| 81592 | CVS インポート機能を利用したパスワード変更をサポートしました。 |
| 81600 | 新しいハードウェアアプライアンス (CCSG-E1-5) をサポートしました。 |
| 81696 | 複数回認証失敗したユーザーがロックアウトされた場合のメッセージを一般的な認証失敗メッセージに置き換えました。(ユーザー名の有効性を明確にすることを避けるための措置) |

ハードウェアアプライアンス比較表

| 名称 | CCSG-E1-5 (AAEON) | CCSG-E1-4 (Supermicro) |
|-----------|---|---|
| 製造 | AAEON | SuperMicro |
| プロセッサ | Intel® 13th/12th Gen (Raptor Lake-S/Alder Lake-S) Core™ Processors install with Intel i7-12700E | Intel® Core™ i7-7700 Processor (8M Cache, up to 4.20 GHz). |
| チップセット | Q670 chipset | Intel® C236 Express PCH |
| メモリ | 1 x DDR4 2666 MHz, 8 GB | 2 x DDR4 2400Mhz 4GB |
| ストレージ | 2 x 128G SATA SSD | 128GB Innodisk 2.5" SATA SSD 3MG2-P series |
| LEDインジケータ | Power/Disk/NIC1/NIC2/Power Failure(no function) | Power/Disk/NIC1/NIC2/Power Failure |
| 背面 I/O | USB 3.2 Gen2 x5 USB 3.2 Gen2x2 (20G) Type C x1 1GbE LAN by Intel I210 w/ LED x2 VGA x1 + Display x 1 + HDMI x 1 Audio (Mic, Line-in, Line-out) Dual AC-in Power module alarm reset button x 1 | USB 3.0 x4 (2 rear + 2 header) USB 2.0 x9 (2 rear + 6 header + 1 Type A) DP x2 , DVI-I x1 , VGA x1 Integrated IPMI 2.0 with KVM and Dedicated LAN Onboard I/O device : HD Audio, 2 COM ports (2 headers), Dual AC |
| 前面 I/O | HW Reset Button (behind the front bezel) Power Button | HW Reset Button (behind the front bezel) Power Button |

CommandCenter Secure Gateway のドキュメント

- ・ CC-SG 仮想アプライアンスのクイックセットアップガイド – VMware, Hyper-V
- ・ CC-SG 仮想アプライアンスのクイックセットアップガイド – AWS, Azure
- ・ Enterprise MIB
- ・ クイックセットアップガイド E1 モデル 英語版
- ・ 管理者ガイド 英語版
- ・ ユーザーガイド 英語版
- ・ Admin Desktop Clients インストレーションガイド 英語版
- ・ API ガイド 英語版
- ・ Virtual Evaluation クイックセットアップガイド 英語版
- ・ Cloud Evaluation クイックセットアップガイド 英語版

CC-SG のドキュメントは、CC-SG Web ベースのユーザーインターフェースおよびラリタンの Web サイトから入手できます。「サポート」セクションで「CommandCenter Secure Gateway」を選択し、適切なリリースをクリックします。

CC-SG オンラインヘルプ

CC-SG にはオンラインヘルプが用意されており、ユーザーインターフェースにて Help > Online Help をクリックすると起動します。「Contents」「Index」「Search」タブから適切なトピックを参照できます。また、サポート Web から、オンラインヘルプを閲覧することが可能です。

リリースパッケージの詳細

CC-SG 11.5.0 は、General Availability (GA – 一般提供) リリースであり、ラリタンのサポート Web から入手できます。

ファームウェアアップグレード

ラリタンは、ソフトウェアの拡張機能、新機能、改良点を含む新しいファームウェアを提供します。これらのアップグレードは、ラリタンの Web サイト (www.raritan.com) から入手できます。サポート ページに移動し、[製品を選択してください] ボタンで「CommandCenter Secure Gateway」をクリックしてください。

新しいファームウェアリリースのエントリを見つけます。リリースノートには、(a) 新機能/拡張機能の簡単な説明、(b) 重要な操作手順、(c) ファームウェアのアップグレード手順が含まれています。リリースノートの指示に従って、アップグレードします。

ファームウェアアップグレードの前提条件

不明な点がある場合や以下の CC-SG 11.5.0 のサポートと互換性を満たしていない場合は、作業を中止してラリタンのテクニカルサポートにお問い合わせください。作業を続行する前に、リリースノートやオンラインヘルプをご参照ください。

CC-SG 11.5.0 のサポートと互換性

1. リリース 11.5.0 は、新旧両方のハードウェアアプライアンスをサポートします。
2. リリース 11.5.0 は、古いシングルポートモデルである DKX-101 と DKX2-101 をサポートしていません。
3. リリース 11.5.0 でユーザーステーション (DKX3-UST、DKX4-UST) を管理する場合、ユーザーステーションのファームウェアは、バージョン 4.6 が必要です。
4. Dominion KX II モデル (DKX2-xxx) は、CC-SG 8.0 以降からサポート対象外です。

CC-SG 11.5.0 へのアップグレードパス

CC-SG リリース 11.0 からリリース 11.5 にアップグレードできます。以前のバージョンを使用しているお客様は、それらのリリースのアップグレードガイドを参照してください。アップグレードの互換性や正しいパスについて質問がある場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

重要事項：5.x もしくは 6.x から段階アップグレードを実施した仮想アプライアンスを 11.5.0 へアップグレードする場合、アップグレードを開始する前に元の古いディスクイメージ (disk 1) を必ず remove しなければいけません。これを行わなかった場合、アップグレードプロセスが中断します。

その他のアップグレードにつきましては、CC-SG のタイプ (「ハードウェアアプライアンス」と「仮想アプライアンス」のいずれか)、ライセンスによって異なります。

1. ハードウェアアプライアンス (CC-SG V1 および E1)
 - ・ CC-SG 5.x をご利用の場合、はじめに 6.0 へアップグレードしてから、7.0 へアップグレードする必要があります。
 - ・ CC-SG 3.x および 4.x をご利用の場合、5.0 → 6.0 → 7.0 といったアップグレード手順となります。
 - ・ 以下のハードウェアアプライアンスは、7.0 へアップグレードすることはできません。

CC-SG-V1-A, CC-SG-V1-1 (2009 年以前のモデル) , CC-SG-E-0

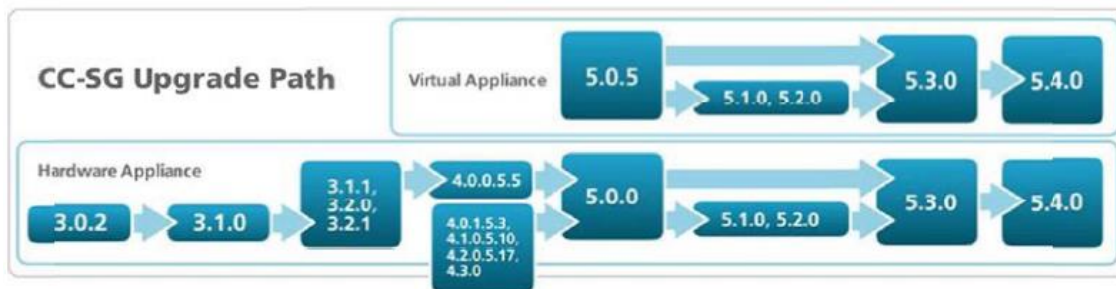
2. 仮想アプライアンス – ライセンスサーバー無し (5.3/5.4)

- CC-SG 5.3/5.4 をご利用の場合、6.0 → 7.0 といったアップグレード手順となります。

3. 仮想アプライアンス – ライセンスサーバーあり (5.0.5/5.1/5.2/5.3/5.4)

- 5.0.5/5.1/5.2 をご利用の場合、5.3 へアップグレードする必要があります。
- CC-SG 6.0 は、Flexera Imadmin や Imgrd ライセンスサーバーをサポートしていないため、新しいライセンスファイルを必要分取得し、当該ライセンスサーバーから移行する必要があります。ラリタンのサポート窓口へご連絡いただき、新たなライセンスファイルを取得してから、CC-SG ライセンスマネージャーにて新しいライセンスを必要分アップロードしてください。ライセンス認証を再び行った後、CC-SG 6.0 へアップグレードが可能となります。
- 上記手順完了後、6.0 から 7.0 へのアップグレードが行えます。

※任意の古い CC-SG へアップグレードが必要な場合は、以下のアップグレードパスをご参照ください。



アップグレードに関する追加情報

仮想アプライアンス :

- 4GB メモリが必要です。
- 7.0 へアップグレードする前に仮想マシンに 40GB の HDD を追加する必要があります。
- 11.5.0 へアップグレードする前に、仮想マシンのハードディスクイメージは 1 つだけにしてください。

ハードウェアアプライアンス :

- CC-SG V1 もしくは E1 は 7.0 へのアップグレードが可能ですが、CC-G1 以前のモデルはアップグレードできません。また、以下の旧製品は、アップグレード対象外です。
- CC-SG-V1-A
- CC-SG-V1-1 (2009 年以前のモデル)
- CC-SG-E-0

・アップグレードを実施する際には、アップグレード前と後でそれぞれバックアップを実施してください。加えて、段階アップグレードの場合は、その都度実施するようにしてください。

・ご利用の構成によっては、CC-SG 以外のラリタン製品のアップグレードが必要になる事があります。

CC-SG 11.5.0 のサポート対象デバイスの一覧は、「互換性マトリックス」(Compatibility Matrix) を参照してください。管理対象となるラリタン製品のアップグレードについては、CC-SG 管理者ガイド (Administrators Guide) を参照してください。

・アップグレード手順の詳細については、CC-SG 11.5.0 管理者ガイドを参照してください。

・ご不明点は、ラリタンのサポート窓口までお問い合わせください。

特記事項および制限事項

1. プロキシモードの HSC と HKC は、2401/tcp を使用します。これは他の KVM クライアントとは異なりますので、プロキシモードのドキュメントを参照してください。

2. SSLv3.0 は、セキュリティの問題により初期状態では無効となっています。古い機器との接続のために、有効にすることは可能です。

3. TLS1.0 は、以下のラリタン製品で利用されています。

KX2 v2.7, KSX2 v2.7, LX v2.7, KX2-101v2 v3.7

4. KVM およびシリアルクライアントの電源制御を行なう場合は、ラリタン製 PX シリーズの PDU を D2CIM-PWR を介して Dominion 製品に接続する必要があります。

5. ブラウザで Java を無効にして HKC を自動的に起動するためには、Windows の「コントロール パネル」に用意された「Java」から「Java コントロール・パネル」を起動して、「セキュリティ」タブの「ブラウザおよび Web Start アプリケーションで Java コンテンツを有効にする」のチェックボックスを解除します。

6. VMware の Web Viewer を使用するためには、証明書をインストール必要があります。

7. Microsoft RDP クライアントは、CC-SG ブックマーク経由で起動することができません。今後のアップデートで対応見込みです。

8. IPv6 の利用 : CC-SG を IPv4/IPv6 デュアルスタックモードで使用する場合は、以下の点にご注意ください。

・ Admin Client は、IPv6 環境で Firefox 6 ~12 を使用することができません。回避策として、ユーザー証明書のインストールが挙げられます。詳細は管理者ガイドをご参照ください。

・ IPv6 環境で VNC を使用する場合、Real VNC サーバーの設定において「Prefer On」を選択してください。

・ IPv6 環境における制限事項は、管理者ガイドを参照ください。

9. Windows 7 以降の VNC および RDP のインターフェースを追加する場合、ICMPv4 と ICMPv6 を Windows Firewall で許可してください。

10. CC-SG 経由で iLO3 の KVM アプリケーションを起動すると、「セキュリティ保護されていないコンテンツをロードしますか」という警告が表示され、これを承認する必要があります。これは、HP 社のアップレットに署名が無いため発生します。

11. Java のバージョン v6 と v7 はサポート対象外です。組み込み型サービスプロセッサのバージョンによっては、最新の Java へのアップデート対応がされていないものもあるため、その場合は Java セキュリティレベルを「低」に設定するか、Java コントロール・パネルのセキュリティタブにある「例外サイト・リスト」を使用してください。

12. RSA リモートコンソールは、JRE1.6.0_10 以降を使用する場合、CC-SG から起動することができません。IBM から回避策が掲示されていますので、ご参照ください。

<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?brand=5000008&Indocid=MIGR-5080396>

13. AES-256bit 暗号化を有効にする場合、CC-SG からのロックアウトを回避するため、必ずクライアント PC またはデバイスに JCE Unlimited Strength Jurisdiction Policy ファイルをインストールしてください。

14. CC-SG は無料試用版ライセンスで動作する ESXi 上の仮想ノードに対する管理と接続はできません。

15. VMware クライアントを利用する場合、シングルマウスモードは、Windows または Linux のターゲットサーバーでは機能しません。

16. DRAC5 をターゲットとしてアクセスする場合、SSH 同時接続数は 4 つに制限されます。

17. お使いの DRAC のバージョンがグレースフルシャットダウンに未対応の場合、電源制御のためにグレースフルシャットダウンの操作を実行すると、「graceful shutdown not supported」（グレースフルシャットダウンはサポートされていません）というメッセージが表示されます。

18. SNMPv3 オプションおよび MGSOFT MIB Browser を使用する場合、「Authentication Passphrase」（認証パスワード）と「Privacy Passphrase」（個別パスワード）は異なるものでなければなりません。このように設定されていない場合、CC-SG が SNMP トラップを送信しても、ブラウザの情報は反映されません。

19. CC-SG の HTML ベースの Access Client (HKC) では、Chrome バージョン 45 以降および Edge ブラウザから Java アプレットベースのインバンドインターフェースを起動することはできません。Java アプレットベースのインバンドインターフェースを使用する場合、他のブラウザ（Internet Explorer 等の対応ブラウザ）をご使用することをお勧めします。また、利用時は、Java ベースの CC-SG Admin Client で、インバンドインターフェースにアクセスしてください。ただし、iLO、DRAC、RSA は起動しません。

日本のテクニカルサポート連絡先

<https://www.raritan.com/jp/support/contact-digital-kvm-support-form>